

公開シンポジウム

「京」から「富岳」へ：大規模シミュレーションが拓く惑星科学の未来

日時：2019年9月9日（月）～10日（火）

会場：東京大学駒場キャンパス 21 KOMCEE West レクチャーホール（〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1）

主催：文部科学省「ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題に関するアプリケーション開発・研究開発」萌芽的課題3「太陽系外惑星（第二の地球）の誕生と太陽系内惑星環境変動の解明」

共催：神戸大学大学院理学研究科附属惑星科学研究センター（CPS）

プログラム：

1日目（9月9日 月曜日）

----- 座長：梅村 雅之（筑波大学） -----

12:20-12:35 開会の挨拶 牧野 淳一郎（神戸大学）

12:35-13:05 スーパーコンピュータ「富岳」の開発 清水 俊幸（富士通(株)）

13:05-13:35 原始惑星系円盤乱流中のダスト粒子の衝突付着シミュレーション 石原 卓（岡山大学）

13:35-14:05 宇宙空間の有機分子生成から見る生命起源 梅村 雅之（筑波大学）

14:05-14:25 休憩（20分間）

----- 座長：牧野 淳一郎（神戸大学） -----

14:25-14:55 「富岳」で計算できる惑星系形成理論 小南 淳子（東京工業大学）

14:55-15:25 原始惑星系円盤大域シミュレーション：デッドゾーン境界 岩崎 一成（国立天文台）

15:25-15:55 跳ね返りを考慮した微惑星集積過程の研究 柴田 雄（国立天文台）

15:55-16:15 休憩（20分間）

----- 座長：草野 完也（名古屋大学） -----

16:15-16:45 太陽対流層計算 堀田 英之（千葉大学）

16:45-17:15 太陽フレアからコロナ質量放出に至る太陽嵐の多スケールシミュレーション
井上 諭（名古屋大学）

17:15-17:45 ジオスペース・マクロダイナミクスからミクロスケールへの連成シミュレーションフレームワーク開発
深沢 圭一郎（京都大学）

17:45-18:15 磁気リコネクションのMHDシミュレーション研究と公開磁気流体コード OpenMHD
銭谷 誠司（神戸大学）

18:30- 懇親会

2日目（9月10日 火曜日）

----- 座長：林 祥介（神戸大学） -----

10:00-10:40 マントル対流の数値モデリング：月・プレートテクトニクス・スーパー地球を例として
小河 正基（東京大学）・亀山 真典（愛媛大学）

10:40-11:10 スペクトル変換ライブラリと回転惑星非線形対流モデルの開発～高解像度ガス惑星大気シミュレーションに向けて
竹広 真一（京都大学）

11:10-11:40 火星大気のグローバル高解像度シミュレーションに向けたモデル開発 櫻村 博基（神戸大学）

11:40-12:00 総合討論

12:00 閉会